

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	初級ダイビング実習	
科目基礎情報							
開設学科	スポーツ健康学科		コース名	スポーツインストラクターコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	ダイブマニュアルⅠ						
担当教員情報							
担当教員	平川 大輔			実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター		
学習目的							
フィンワーク授業で習得した基礎知識・基礎技術に加え、スクーバダイビング（空気タンクを使用し水中へ潜る）基礎知識・基礎潜水技術を初級ダイビング実習（海洋）で学びます。技術習得、海洋に応じたエントリー（入水法）・エキジット（出水法）、危険な生物、自己管理、責任感、他人を思い遣る気持ち、コミュニケーション力、観察力など、人間観を培う様々なプログラムの要素がダイビング実習には備わっています。安全潜水に必要な技術をしっかりと習得してください。また、この資格は世界中で通用するダイビング資格が認定されます。							
到達目標							
初級資格・オープンウォーターダイバー取得を目指す。安全にダイビングができる基本的な潜水技術を習得します。そして海におけるマナーなど実際に体験をし、海洋状況や気象変化などを含めて自然の中で安全に楽しむこと学びます。また、集団生活をするることにより、学生同士の連帯感や自己責任を果たすことによって人間力の向上を図り、社会人として必要な知識を習得する。							
教育方法等							
授業概要	ダイビングに必要なスキンドайビングの実技内容を、実習期間内に習得する。 ダイビングに必要なスクーパーダイビングの実技内容を、実習期間内に習得する。						
注意点	・前期カリキュラム(フィンワーク実習)履修者 ・ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください ・実習中の健康管理には十分気を付けてください						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	筆記試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実技試験				
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	器材の取り扱い&チェック&セッティング(スキン&スクーバ)			スキンドайビング・スクーバダイビング器材の取扱、セッティング（着け方）を習得します			
2回	器材のリセット&水洗い(スキン&スクーバ)			器材の手入れ方法を習得します			
3回	【スキン】エントリー&エキジット、スノーケル呼吸&クリア			海況に応じた入水・出水法、スノーケルでの呼吸法を習得します			
4回	【スキン】マスククリア【マスクなし呼吸、マスク投げ			マスククリアの基礎技術、応用技術を習得します			
5回	【スキン】フィンワーク①スノーケルクリアの併用 ②マスクなし移動 ③片フィン併用			海洋での遊泳法、トラブル回避法を習得します			
6回	【スキン】立ち泳ぎ&浮力調整			浮力調整技術を習得します			
7回	【スキン】潜降(ヘッドファースト)/浮上			安全な素潜り方法を習得します			
8回	【スクーバ】エントリー&エキジット			スクーバダイビング装備での入水法・出水法を習得します			
9回	【スクーバ】レギュレーター リカバリー&呼吸			レギュレーター（呼吸器材）方法・水中でのトラブル回避法を習得します			
10回	【スクーバ】レギュレーター クリア(水面2種、水中2種)			レギュレーター内に海水が浸入した際の呼吸確保の方法を習得します			
11回	【スクーバ】マスククリア(マスクなし呼吸&マスク脱着)			水中でマスク内に海水が浸入した際の水の出し方を習得します。			
12回	【スクーバ】立ち泳ぎ+B,C,D&ウェイトの脱着(水面 水中)			立ち泳ぎによるフィンの使用法、姿勢（フォーム）、水面水中ウエイトの離装着法を習得します			
13回	【スクーバ】水面移動(スキン①②③同様)			スクーバダイビング装備で水面移動法を習得します			
14回	【スクーバ】水中動作①潜降浮上②遊泳姿勢&フィンワーク③中性浮力			水中での遊泳姿勢、中性浮力（水中での正しい浮力調整法）による遊泳法を習得します			
15回	【スクーバ】緊急浮上方法			空気が少なくなった・なくなった際のトラブル回避方法を習得します			